

# 大沢住区のまち並み資源図

大沢住区は、野川や国分寺崖線、国立天文台や国際基督教大学など、市内で最も多くの自然が残されている住区です。

**国際基督教大学 (百)**  
正門から奥へと約600m続く桜並木は、桜の季節には、一般にも開放されます。学内には、実業家山田敬亮の別荘として昭和14年に竣工した泰山荘など、文化的に価値の高い建造物があります。

**泰山荘 (百)**  
歴史的建造物の古材を集めて建てられた茶室(高風居)・書院・待合・蔵・車庫・表門からなり、国分寺崖線の雑木林の中にひっそりと佇んでいます。

**野川公園 (百)**  
野川公園の前身は、国際基督教大学のゴルフ場です。桐布、小金井、三鷹の三市にまたがり、三鷹市内では野川に沿った桜並木や豊かな湧水が見られます。

**深き沢に薫る花わさび田(花栽培) (百)**  
市内でも珍しいわさび田の景観です。

**果実の香り大沢農地 (百)**  
野川の水に恵まれた農地です。

**近藤勇墓**  
近藤勇は、龍源寺本堂裏の墓地に葬られたと言われています。

**大沢の里周辺 (百)**  
大沢の里には、野川や国分寺崖線の緑を核として、水車経営農家・新車、深生花園があります。深生花園には、ホタルの為に水路や水田があり、春にはレンゲ祭り、夏にはホタル祭りでにぎわいます。国分寺崖線中腹にはコナラやクヌギ、ヤマザクラなど、崖下にケヤキやシラカシなどの樹林が見られます。

**旧箕輪家住宅主屋**  
多摩地方の典型的な農家の佇まいを見せる住宅主屋です。

**武蔵野の森公園 (百)**  
武蔵野の森公園は、調布市にまたがる公園です。小高い丘などからは、隣接する調布飛行場を眺めることもできます。戦時に戦闘機を守るために用いられた掩体壕も残されています。

**出山横穴墓群8号墓**  
丘陵の斜面を横に掘ってその中に遺体を埋葬した古代の墓(7世紀頃)の一つです。

**国分寺崖線からの眺望 (百)**  
第七中学校の階段上などの国分寺崖線の眺望点からは、野川や崖線下のまち並み、遠くは富士山を眺めることができます。

**大沢グラウンド通り (百)**  
両側の桜並木は、春には桜のトンネルになり、通りを覆います。大沢グラウンド、武蔵野の森公園及び調布飛行場に接し、空の広い開放的な通りです。

**自然**

住区のほぼ全域が大沢の里・国分寺崖線重点地区に入っている大沢住区では、大規模な緑地の間に位置する住宅地や農地にも、緑豊かな環境を形成し、住区全体として、自然を感じる景観をつくり出していくことが求められます。

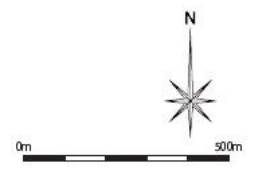
- 河川
- 斜面地
- 保存樹林・樹林
- 緑被 樹林地
- 湧水
- 緑被 草地
- 眺望点
- 緑と水の回遊ルート

**農**

湧水、野川の清流により育まれたワサビ田や水田、水車小屋及び茅葺き屋根の古民家の景観が見られることは、他の住区にはない特徴です。また、多くの農地は、国分寺崖線の斜面緑地や国立天文台、国際基督教大学などの大規模な緑地の間に広がっており、自然の景観をつなげる役割を担っています。大沢市民農園など、市民が関わる農のある風景を見ることができます。

- 農地
- 市民農園

**野川 (百)**  
野川の源流は、国分寺市の日立中央研究所内の湧水にはじまり、国分寺崖線からの湧水を集めながら多摩川に合流します。河畔には遊歩道が設けられ、霧からは川沿いのまち並みや崖線の緑を眺めることができます。



**歴史・文化**

人見街道沿いには、農家の屋敷、土蔵及び屋敷林などの名残を感じる景観が残っています。また、国立天文台、国際基督教大学及びルーテル学院大学などには、歴史・文化的価値のある建造物が残っています。これらを保全・活用した景観づくりが求められます。

**文化財**

- 都指定文化財
- 市指定文化財
- 国登録文化財
- 市登録文化財
- 文化・教育施設
- 寺社
- 街道

**にぎわい**

東八道路、天文台通りなどの幹線が通ります。街路樹の緑豊かな東八道路、国立天文台に接した谷線を通る天文台通り、桜並木の美しい大沢グラウンド通りなど、それぞれの特徴的な景観を活かした骨格にふさわしいまち並みの形成が求められます。

- 商店街
- 事業中の都市計画道路
- 都市軸
- 中央都市軸
- 東西都市軸
- サブ都市軸

**コミュニティ**

大規模な緑地のまわりに馬蹄形に広がる住宅地の多くは、斜面に立地しており、地形を生かした緑豊かな住宅地のまち並みの形成が求められます。また、崖線下の住宅地では、崖線からの眺望にも考慮し、屋根の色彩などの配慮が求められます。

- 小・中学校・高等学校
- 公園・緑地・広場
- 地区計画
- 緑道など特徴的な道

**その他**

**風景百選 (百)**

コミュニティ住区の境界

※景観重点地区の範囲については、p88「風景計画区域の区分」を参照ください。



# 東部住区のまち並み資源図

東部住区は、玉川上水周辺や牟礼の里をはじめとした、豊かな緑が残っています。また、牟礼地区や北野地区を中心に農地が広がっており、屋敷や屋敷林、雑木林とともに農の原風景が残っている住区です。

## 玉川上水取水堰・分水取入口

1745年に玉川上水から牟礼への分水が許可され、上水に堰を作り、水量を増し、水圧を上げ、低い場所から高い場所へ押し上げた技術がうかがえます。

## 高橋亨之助の墓

牟礼村の教育に大きな功績を残した、東三鷹専常高等学校の初代校長の墓です。

## 牟礼団地

昭和31年に建設された集合住宅団地で、現在は建替えが進行中です。成長した桜の水や弘済園通りの桜並木など、地域の人々が愛着を感じる景観があります。

## 地域をやさしく見守るシンボルツリー

住宅地の中にある大樹です。

## 花々と楽しく戯れきんぎょ公園

きんぎょの滑り台がある公園です。

## 東八道路

東西都市軸である東八道路は、広い歩道と街路樹が整備され、周辺には農のある風景が広がっています。東への延伸が進められています。

## 石造庚申供養塔

江戸時代に造立された庚申塔の多くは、青い金剛を浮か彫りしていますが、この庚申塔は、「3匹の猿」、「日」及び「月」だけを浮か彫りにした珍しいものです。

## 新川天神

寛永年間、野川天神山から現在の地に遷宮されたと言われています。

## 桜のトンネル 3・4・13号

道の両側が桜並木で、満開時は見事な桜のトンネルになります。

## 北野公園

広大に広がる農地の中に残る雑木林の公園です。周囲の農地やケヤキの大樹とともに、武蔵野の面影を感じる景観を形成しています。

## 新川天神山青少年広場

山に沿った丘の地形にある武蔵野の面影を感じる雑木林の公園です。周囲には、農地や保存樹木が見られ、それらが一体として、緑豊かな景観を形成しています。

## 響く鐘の音

井の頭恩賜公園の近くの教会に響く癒しの鐘です。

## 玉川上水

玉川上水は、樹々の緑豊かで、地域の人々の散歩コースになっています。法政大学中学・高等学校の近くの雑木林、人見街道のどんとん橋など、特徴的な景観が見られます。

## 大地の営み守り継ぐ 牟礼の農地

玉川上水、連雀通り、人見街道などの歴史ある軸線の周囲には、農地と屋敷や屋敷林などが一体となって農のある風景を形成しています。

## 大空に土の香り立つ井の頭農地

住宅地の中に点在する土の香りを感じる農のある風景です。

## 深き緑に竹の音響く牟礼竹林

農地とともに牟礼の原風景を感じる竹林です。

## 牟礼の里

牟礼の里は、玉川上水の奥に広がる高台にあり、まとまりある一団の農地から構成されている。三鷹のふるさとの魅力に溢れる景観です。また、周囲の丘は、市内の最高点となっており、富士山を眺められる場所もあります。

## 三木露風の墓

大盛寺墓地にある、童謡「赤とんぼ」の作詞を手がけた詩人の墓です。

## 石燈籠

井の頭弁財天への道標でもあった石燈籠が、保存されています。

## 人見街道

人見街道沿いには、社寺、屋敷及び雑木林が残り、湾曲した線形には、古道の趣を感じる事ができます。

## 草花香る花と緑の広場

ポランティア花壇、ポランティアによる庭づくり及び種まきから行う花畑など、花や緑に触れ合いながら楽しむことのできる広場です。

## 三鷹台団地

昭和37年に建設された集合住宅団地ですが、地区計画を進め、建替えが完了しました。団地内の通り沿いには、緑の軸として、武蔵野の里山に昔から育つ樹種が植えられています。また、建替えられた団地には、ビオトープが整備されるなど、武蔵野の面影を残す景観づくりが行われています。

## 中川遊歩道

暗渠になっている中川に整備された遊歩道です。北野二丁目付近では、周囲に広がる農地と一体となった景観を形成しています。

## ハビネスセンター前の

けやき並木 屋敷林として植えられたけやきの大樹が、趣のある並木の風景を形成しています。北野の農のある風景のモデル地区として、けやき並木の保存と道路の整備を計画しています。

## 芝映える自慢の我が母校

北野小学校 地域に愛されている小学校です。

## 北野庚申堂

5月の庚申の日に近隣の人々が集まってお祭りをします。堂の中には、4本の庚申塔が納められています。

## くろ土薫る大地

### 北野農地

広大な平地に広がる北野の農地は、保存樹木となっている大樹のある屋敷林や雑木林と一体となり、農のある風景を形成しています。

**自然**

樹々に覆われた玉川上水が北東端を流れ、牟礼の里付近では、緑と農を感じる景観が見られます。また、南西端の一部には山も接しています。これらの周辺では、自然と調和した景観づくりが求められます。

河川	緑被 樹林地
眺望点	緑被 草地
保存樹木・樹林	緑と水の回遊ルート

**農**

牟礼地区では、玉川上水に沿って農地が点在し、北野地区では、広大な大地に農地が広がっています。また、農地に隣接し、屋敷林や雑木林も残っています。農地と宅地の境界を生け垣で緑化するなど、周囲には農と調和した景観づくりが求められます。

農地
----

**歴史・文化**

連雀通りと人見街道が通り、沿道には社寺、屋敷及び雑木林など、街道らしさを感じる景観が残っています。国の史跡に指定されている玉川上水には、どんとん橋などの歴史・文化を感じる構も架かっています。これらを保全・活用した景観づくりが求められます。

**文化財**

国指定文化財	石造物
市指定文化財	寺社
その他の文化資源	街道

**にぎわい**

東西都市軸である東八道路は今後、東への延伸が予定されています。街路樹が整備され、緑豊かな街路景観が続き、沿道の建築物には、骨格にふさわしいまち並みの形成が求められます。

**都市軸**

東西都市軸	中央都市軸
東西都市軸	サブ都市軸

**都市軸**

商店街	都市計画道路
事業中の都市計画道路	環状道路

**コミュニティ**

建替えの進む牟礼団地や建替えの完了した三鷹台団地では、桜並木などの景観の継承を図っていきます。一般住宅地では、点在する農や歴史・文化の資源との調和を図り、緑豊かなまち並みづくりを行います。

集合住宅団地	公園・緑地・広場
小・中学校・高等学校	緑道など特徴的な道
地区計画	

**その他**

風景百選

コミュニティ住区の境界

※景観重点地区の範囲については、p887図「景観計画区域の区分」を参照ください。

0m 500m





# 井の頭住区のまち並み資源図

井の頭住区は、都立井の頭恩賜公園をはじめ、玉川上水や神田川など、緑と水に囲まれた住区です。また、JR中央線や京王井の頭線など、交通利便性も高い住区です。

**自然**

井の頭住区は、神田川、玉川上水及び井の頭恩賜公園に囲まれた自然の景観の豊かな住区です。周辺の景観の調和や住区全体で緑豊かな環境をつなげていくことが求められています。

- 保存樹林・樹林
- 緑被 樹林地
- 緑被 草地
- 河川
- 緑と水の回遊ルート

**農**

玉川上水に沿って閑静な住宅地の中に貴重な農地があります。周辺の宅地では、敷地境界の緑化等を推進するなど、農地との調和が望まれます。また、農地においても境界の緑化など、周辺の市街地の環境との調和が求められます。

■ 農地

**歴史・文化**

住宅地に残る登録文化財などの歴史的な建築物、石造物や赤道と呼ばれる水路跡など、歴史・文化を感じる景観が点在しています。赤道沿いの境界線の生け垣化や建築物、石造物を生かした景観づくりなどが求められます。

**文化財**

- 都指定文化財
- 市指定文化財
- 国登録文化財
- 石造物
- 寺社

**にぎわい**

三鷹台駅前、井の頭公園駅前及び井の頭公園通りでは、路線型の商店街がにぎわいを形成しています。これらの商店街では、歩いて楽しめるにぎわいの景観が連続するように、建築物のデザインや設えの工夫が求められます。

- 商店街
- 事業中の都市計画道路
- 東京外かく環状道路

**コミュニティ**

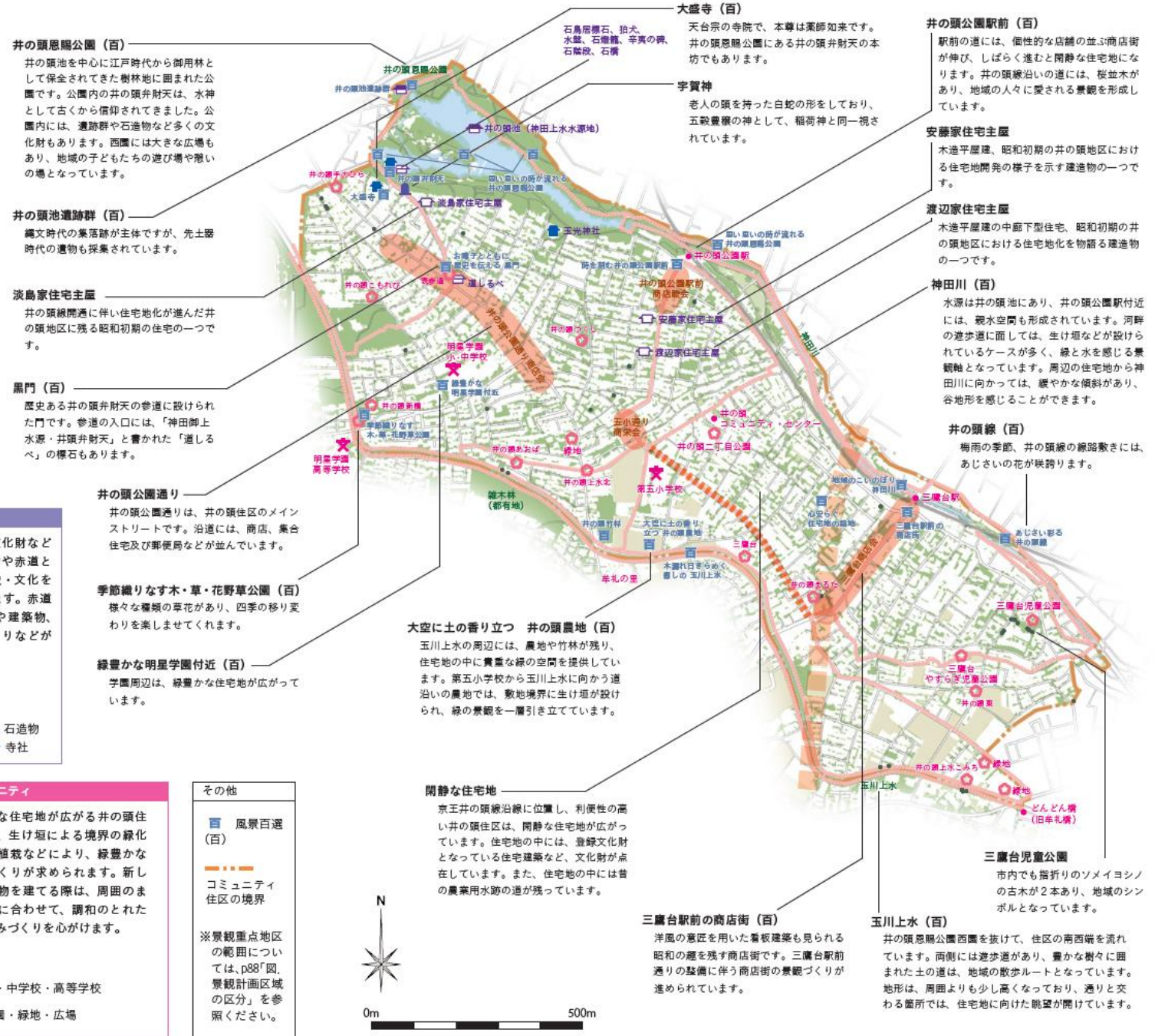
閑静な住宅地が広がる井の頭住区では、生け垣による境界の緑化や庭の植栽などにより、緑豊かな景観づくりが求められます。新しく建築物を建てる際は、周囲のまち並みに合わせて、調和のとれたまち並みづくりを心がけます。

- 小・中学校・高等学校
- 公園・緑地・広場

**その他**

- 風景百選(百)
- コミュニティ住区の境界

※景観重点地区の範囲については、p88「図、景観計画区域の区分」を参照ください。



**井の頭恩賜公園 (百)**  
井の頭池を中心に江戸時代から御用林として保全されてきた樹林地に囲まれた公園です。公園内の井の頭井財天は、水神として古くから信仰されてきました。公園内には、遺跡群や石造物など多くの文化財もあります。西園には大きな広場もあり、地域の子どもの遊び場や憩いの場となっています。

**井の頭池遺跡群 (百)**  
縄文時代の集落跡が主体ですが、先土器時代の遺物も採集されています。

**波島家住宅主屋**  
井の頭線開通に伴い住宅地化が進んだ井の頭地区に残る昭和初期の住宅の一つです。

**黒門 (百)**  
歴史ある井の頭井財天の参道に設けられた門です。参道の入口には、「神田御上水源・井頭井財天」と書かれた「道しるべ」の標石もあります。

**井の頭公園通り**  
井の頭公園通りは、井の頭住区のメインストリートです。沿道には、商店、集合住宅及び郵便局などが並んでいます。

**季節織りなす木・草・花野草公園 (百)**  
様々な種類の草花があり、四季の移り変わりを楽しませてくれます。

**緑豊かな明星学園付近 (百)**  
学園周辺は、緑豊かな住宅地が広がっています。

**大空に土の香り立つ 井の頭農地 (百)**  
玉川上水の周辺には、農地や竹林が残り、住宅地の中に貴重な緑の空間を提供しています。第五小学校から玉川上水に向かう道沿いの農地では、敷地境界に生け垣が設けられ、緑の景観を一層引き立てています。

**閑静な住宅地**  
京王井の頭線沿線に位置し、利便性の高い井の頭住区は、閑静な住宅地が広がっています。住宅地の中には、登録文化財となっている住宅建築など、文化財が点在しています。また、住宅地の中には昔の農業用水路の道が残っています。

**大盛寺 (百)**  
天台宗の寺院で、本尊は薬師如来です。井の頭恩賜公園にある井の頭井財天の本坊でもあります。

**宇賀神**  
老人の頭を持った白蛇の形をしており、五穀豊穡の神として、稲荷神と同一視されています。

**井の頭公園駅前 (百)**  
駅前の道には、個性的な店舗の並ぶ商店街が伸び、しばらく進むと閑静な住宅地になります。井の頭線沿いの道には、桜並木があり、地域の人々に愛される景観を形成しています。

**安藤家住宅主屋**  
木造平屋建、昭和初期の井の頭地区における住宅地開発の様子を示す建造物の一つです。

**渡辺家住宅主屋**  
木造平屋建の中廊下型住宅、昭和初期の井の頭地区における住宅地化を物語る建造物の一つです。

**神田川 (百)**  
水源は井の頭池にあり、井の頭公園駅付近には、親水空間も形成されています。河畔の遊歩道に面しては、生け垣などが設けられているケースが多く、緑と水を感じる景観軸となっています。周辺の住宅地から神田川に向かっては、緩やかな傾斜があり、谷地形を感じることが出来ます。

**井の頭線 (百)**  
梅雨の季節、井の頭線の線路敷きには、あじさいの花が咲誇ります。

**三鷹台駅前の商店街 (百)**  
洋風の意匠を用いた看板建築も見られる昭和の趣を残す商店街です。三鷹台駅前通りの整備に伴う商店街の景観づくりが進められています。

**玉川上水 (百)**  
井の頭恩賜公園西園を抜けて、住区の南西端を流れています。両側には遊歩道があり、豊かな樹々に囲まれた土の道は、地域の散歩ルートとなっています。地形は、周囲よりも少し高くなっており、通りと交わる箇所では、住宅地に向けた眺望が開けています。



# 新川中原住区のまち並み資源図

新川中原住区は、市の中心部を斜めに横切る仙川が流れています。仙川流域は、丸池の里を中心に公園の整備が進んでおり、農地や樹林と一体となった景観づくりを進めている住区です。



**農業公園 (百)**  
市民が農業と緑について身近に学び、触れ、楽しみ、相互に交流できる場所です。

**多摩青果跡地 (百)**  
新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) の整備が予定されており、人工地盤上は、大きな芝生の広場となります。

**東八道路 (百)**  
東西都市軸である東八道路は、広い歩道と街路樹が整備され、周辺では、新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) や農業公園、研究機関など、公園や大規模な土地利用が見られます。

**仙川公園 (百)**  
仙川を挟んで南北の2つに分かれており、噴水池や花壇、ベンチ、休憩所などが整備されています。

**大地に触れるちびっこ農園 (百)**  
子どもたち専用の畑があり、実際の大地に触れ、においを感知、植物の成長を見守る事が出来ます。

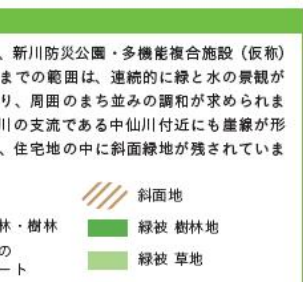
**杏林大学付属病院 (百)**  
市民から親しまれている総合病院です。

**丸池の里と勝淵神社 (百)**  
丸池の里は、仙川流域の勝淵神社や丸池など、市民生活と密接に関わりながら地区の歴史を培ってきました。市街化の進行に伴い、昭和40年代に埋め立てられましたが、平成12年、延べ1,000人もの住民が参加した「丸池復活プランづくりワークショップ」を基に、丸池の復活を含む丸池公園の第1期部分が開園しました。現在、地域の人々が管理に誇り、自然に触れ合える景観となっています。今後は農との触れ合いの場づくり、隣接する仙川公園等とのネットワークづくり、生産緑地制度の活用や営農の支援などの取り組みが進められています。

また、勝淵神社は、戦国武将柴田勝家の理髪師約儀承地として、長い間地域の人々に昔から雨乞いの水神社「明神様」と呼ばれて親しまれてきた神社であるとともに、鎮守の森として、今後に継承すべき緑地も残っています。

**中原地区の住宅地**  
崖線を軸に豊かな地形の見られる中原地区の住宅地は、比較的密集していますが、坂や緑と調和した落ち着いた景観を形成しています。

**自然**  
仙川を軸に、新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) から丸池の里までの範囲は、連続的に緑と水の景観がつながっており、周囲のまち並みの調和が求められます。また、野川の支流である中仙川付近にも崖線が形成されており、住宅地の中に斜面緑地が残されています。



**農**  
両側の崖線を除く平坦な地形に農地が広がっており、住宅地との調和が求められます。丸池の里の一角を利用した「まるいけたんば」では、小学生が田植えや稲刈りを体験する風景を見ることが出来ます。

**歴史・文化**  
勝淵神社、中嶋神社及び春清寺など、地域の人々に親しまれてきた社寺があります。また、都立三鷹中等教育学校、杏林大学及び消防大学校など、文教施設も多く位置し、これらと調和した景観づくりが求められています。

**文化財**  
市指定文化財  
文化・教育施設

**にぎわい**  
東八道路や吉祥寺通り沿いには、街路樹が整備され、緑を感じる景観が形成されています。吉祥寺通りの西側には、杏林大学付属病院や研究機関などが集まっており、大規模な土地利用が見られます。

商店街  
都市軸  
東京外かく環状道路  
その他の道路

**コミュニティ**  
新川地区では、農地の広がる比較的平坦な地形に住宅地が形成され、大規模集合住宅団地である新川・島屋敷通り団地は、地域ケア拠点ともなっています。仙川や農地と調和した緑豊かな景観づくりが求められます。中原地区は、斜面地が多く、地形にそった不整形な街区に住宅地が広がり、緑と坂に調和した景観づくりが求められます。

集合住宅団地  
公園・緑地・広場  
小・中学校・高等学校  
地区計画

**崖線と斜面緑地 (百)**  
大沢住区だけでなく、中原地区にも崖線があります。斜面地においては、宅地化が進んでいますが、一部に斜面緑地が残っており、貴重な景観資源となっています。

**中仙川遊歩道 (百)**  
野川の支流で、国分寺崖線下を流れる中仙川は、大部分が暗渠化され、住宅地の中を蛇行しながら通る遊歩道となっています。

**仙川 (百)**  
仙川を中心に、新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) から農業公園、新川第2公園、新川丸池公園及び丸池の里までの範囲は、連続的に緑と水の景観がつながっています。河畔には、桜の並木が整備されている箇所もあり、春には、河床の菜の花との対比が、美しい景観を形成しています。

**新川・島屋敷通り団地**  
昭和34年に建設された新川・島屋敷通り団地は、戦後、急激な宅地化の進んだ新川中原住区の象徴と言えます。近年、老朽化から建て替えられ、地域ケア拠点にもなっています。

**新川天神山青少年広場 (百)**  
仙川に沿った丘の地形にある武蔵野の面影を感じる雑木林の公園です。周囲には、農地や保存樹木が見られ、一体として、緑豊かな景観を形成しています。

**中央自動車道**  
中央自動車道の三鷹料金所の周辺は、周辺との緩衝帯として緑地が設けられています。

**春清寺柴田勝重の墓**  
春清寺の奥の墓所には、仙川一帯を納めていた柴田勝重の墓と柴田家の由緒を記した石碑があります。

**新川・中原の農地 (百)**  
新川地区の農地は、平坦な地形に広がっており、屋敷林なども残っています。中原地区の農地は、崖線の上下に広がっています。

**その他**  
風景百選 (百)  
コミュニティ住区の境界  
※景観重点地区の範囲については、p88「図、景観計画区域の区分」を参照ください。

# 連雀住区のまち並み資源図

連雀住区は、中央都市軸と東西都市軸が交差する結節点にあり、市民センターや芸術文化センターなどの公益施設が集中している住区です。

## 曙住宅 (百)

太平洋戦争開戦を目前に、住宅経営財団(住宅営団)によって建設された市内4つの住宅地の1つです。

## 中島家住宅主屋

木造平屋一部二階建、昭和初期の和洋折衷の郊外住宅の特徴を良く残しています。

## 三鷹通り (百)

沿道には、社寺や歴史的な建物が残っています。また、周辺の短冊状の農地は、江戸時代の新田開発の名残です。三鷹通りには商店街が連続しており、にぎわいあるまち並みを形成しています。

## 神明社 (百)

三鷹通りに面する神社です。入口には、庚申塔が2基あります。

## 井口院 (百)

三鷹不動尊として、近隣に親しまれています。

## 澄みわたる三鷹の空 (百)

上連雀の農地から眺める空は、まちなかにありませんが、とても広いです。

## 芸術文化センター周辺

三鷹市芸術文化センター、八幡大神社及び禅林寺が集積する、市の歴史・文化の拠点です。芸術文化センターは、丸屋根と低層の外観が特徴的です。

## 住宅地に囲まれた貴重な農地 上連雀農地 (百)

上連雀には、住宅地に囲まれた貴重な農地が残っています。新田開発の名残を感じる南北に長い短冊状の農地もあります。

## 山中住宅 (百)

太平洋戦争開戦を目前に、住宅経営財団(住宅営団)によって建設された市内4つの住宅地の1つです。現在も所々に当時の面影を感じることができます。

## 三鷹通り (百)

市民センター付近の三鷹通りは桜並木が、トンネル状に街路を覆い、四季の変化を楽しめる景観をつくり出しています。沿道のマンションや公共施設も落ち着いたまち並みを形成しています。

## 日常にある歴史を知る新田跡 (百)

南北に長い短冊状の街区には、新田開発の面影を感じることができます。

## 八幡大神社 (百)

江戸の明暦の大火(振袖火事)で罹災して入植した人々の鎮守として創建された神社です。境内には、市の天然記念物に指定されているスズジイがあります。9月の第2日曜日には大祭が行われ、神輿がまちを練り歩きます。

## 森林太郎の墓 (百)

森林太郎は、『舞姫』や『阿部一族』等の作品で知られる作家・森鷗外の本名で、その墓は、禅林寺墓地にあります。

## 太宰治の墓 (百)

太宰治が森鷗外を尊敬していた意を込めて、美知子夫人がこの寺の森鷗外の墓の側に、太宰治の墓を建てました。

## 禅林寺 (百)

八幡大神社の東側にあり、江戸の明暦の大火(振袖火事)で移住してきた人々により、創建されました。山門をくぐると市の文化財に指定されているイチョウの木があります。

## 仲町通りの商店街

仲町通りは、比較的幅員が狭いものの、沿道の商店がにぎわいをつくるヒューマンスケールなまち並みとなっています。

## 庚申塔

三鷹通り沿いにある、地域に愛されている庚申塔です。

## 吉祥寺通り (百)

大規模な土地利用が進み、マンションや企業が立地しています。沿道に対して、緑やオープンスペースが設けられ、通り歩行者に豊かな空間を提供しています。三鷹通り以北は、商店街となっており、昭和の雰囲気を残す建築物も残っています。

## 日本無線株式会社 (百)

三鷹通りに面する敷地の入口付近には、2本のシンボルツリーがあります。

## どんぐりばし (百)

三鷹市下連雀の仙川に架かる小さな橋です。

## 住工共存のまち並み

下連雀の準工業地域では、工場とマンションが混在するまち並みが広がっています。敷地境界に緑地の緩衝帯が設けられるなど、住宅と工場が共存するための工夫が見られます。

## 仙川

連雀住区の仙川は、水量もほとんどなく、川幅も狭い、三面張りの河川です。工場が建ち並び中心部では幽霊川になっています。

## 人見街道 (百)

市街化の進んだ連雀住区では、人見街道の歴史の跡を感じる景観は少なくなりましたが、歴史的な一部を残す保存樹木・樹林などからわずかに面影を感じることができます。



## 廣場標石

江戸時代、三鷹の東側は幕府の廣場、西側は尾張徳川家の廣場でした。廣場標石は現在、市内に5基が残っています。

## 市民センター (百)

市役所をはじめ、多くの公益施設が集積している市民センターでは、新たに新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の整備が予定されています。市民が集う、憩いの場であるとともに、大規模な緑の拠点でもあります。



### 自然

骨格となるような自然の少ない連雀住区においては、民有地での緑の確保が大切です。また、三鷹通りや人見街道沿いには、屋敷林の面影ある保存樹木・樹林や社寺林が残り、周囲の調和が求められています。

- 緑と水の回遊ルート
- 緑と水
- 緑地 樹林地
- 保存樹木・樹林
- 緑地 草地

### 農

まちなかに点在する農地は、自然を補完する貴重な緑の景観です。農地に隣接する宅地においては、敷地境界の緑化等を推進するなど、農地との調和が求められます。また、農地においても境界の緑化など、周辺の市街地の環境との調和が求められます。

- 農地

### 歴史・文化

三鷹通り、人見街道沿道では、歴史・文化的資源の保全と歴史の面影を生かした景観づくりが求められます。また、八幡大神社、禅林寺及び芸術文化センター周辺は、歴史・文化の拠点として周囲の調和が求められます。

文化財

- 市指定文化財
- 国登録文化財
- 石造物
- 文化・教育施設
- 寺社
- 街道

### にぎわい

三鷹通り、山中通り及び仲町通りなどの商店街沿道では、連続性とにぎわいあるまち並み形成を図ります。

吉祥寺通りや三鷹通りなどの都市軸では、沿道の建築物と一体に骨格にふさわしいまち並みを形成するとともに、街路樹と民地の緑化の推進により、緑を感じる景観づくりを行います。

- 商店街
- まちづくりの拠点
- 事業中の都市計画道路
- 都市軸
- 中央都市軸
- 東西都市軸
- サブ都市軸

### コミュニティ

市街化の進む連雀住区では、貴重な緑と憩いの空間となっている公園などを核として、緑豊かなまち並みづくりを行います。特に、大規模な集合住宅などの建設においては、周囲のまち並みとの調和や緑や憩いを感じるまち並みづくりに配慮します。

- 初期の住宅地開発
- 緑道など特徴的な道
- 公園・緑地・広場
- 地区計画

### その他

- 風景百選(百)
- コミュニティ住区の境界
- ※景観重点地区の範囲については、P88「図. 景観計画区域の区分」を参照ください。

# 三鷹駅周辺住区のまち並み資源図

三鷹駅周辺住区は、中央通りと三鷹通りを軸とした市の商業活動の中心であり、また、最も人口密度の高い住区です。

## 堀合遊歩道 (百)

武蔵野競技場線の線路跡である堀合遊歩道は、ゆっくりと右にカーブを描き、両側に大きく成長した樹々が立ち並び落ち着いた遊歩道です。調布保谷線の整備に伴い、一部は無くなります。

## 調布保谷線

都市計画道路3・2・6号(調布保谷線)は、環境施設帯が設けられた緑豊かな幹線道路として整備されています。沿道は、「調布保谷線沿線地区地区計画」が指定され、住環境の保全を図りながら土地利用転換の誘導が行われています。

## 品川用水跡

品川用水跡であるさくら通りは、緩やかに湾曲するその線形に用水の面影を感じることができます。市街地を斜めに渡る用水跡は、東西南北軸を主とした市街地景観に変化を与えています。

## 花あふれ、安心安全のまちづくり町会活動 (百)

身近な生活やにぎわいの景観の背景には、元気の町会活動があります。

## 日常にある歴史を知る新田跡 (百)

上連雀地区には、住宅地に囲まれた貴重な農地が残っています。連雀通りに近い住区南側では、新田開発の名残を感じる南北に長い短冊状の農地も見られます。

## 水源の森あけぼのふれあい公園

平成10年度に整備された当公園は、三面護岸の続く上流部の仙川の貴重な親水空間となっています。周辺に降った雨水を集め、一時貯留し、仙川に流すとともに、地下に浸透させる機能が整備されています。

## 曙住宅と市道第99号線桜並木 (百)

太平洋戦争開戦を目前に、住宅経営財団(住宅管団)によって建設された市内4つの住宅地の1つです。市道第99号線桜並木は、地域の人々に愛される景観として育まれています。

## 三鷹電車庫跡線橋 (百)

太宰治は、この線橋での夕方の眺めをとてにも気に入っていたそうです。現在も西側の三鷹電車庫が一望できる線橋は、電車を眺める親子連れなどにぎわっています。

## 誇らしき存在、永き歳月を伝える蔵 (百)

玉川上水の遊歩道に面して残る土蔵です。

## 石造庚申供養塔

江戸時代に造立された庚申塔の代表的な形をしており、浮き彫りの状態も傷みがなく保存されています。

## 三鷹駅前 (百)

ケヤキがシンボルの市民参加でつくられた広場です。

## 安らぎとにぎわいの裏道 (百)

中央通りを一本入ると、落ち着いた街路に小さなお店が点在しています。

## 中央通り (百)

中央通りは、三鷹駅の正面を南北に通る駅前の歩行者動線の幹線軸です。沿道には、商店街のにぎわいある景観が続いています。今後も再開発等を通じ、質の高い歩行者中心の道路空間としてのまち並みづくりが求められています。

## 風の散歩道 (百)

三鷹駅から三鷹の森ジブリ美術館までのアクセス道路でもある風の散歩道は、玉川上水の豊かな樹々と一体となり、四季の情緒を感じるシンボルロードとなっています。

## 炎上する風物詩三鷹阿波踊り (百)

40年以上続いている三鷹の夏の風物詩です。

## 山本有三記念館 (百)

風の散歩道から少し奥まったところにある、大正15年頃に建てられた洋風建築です。外部の暖炉煙突の石積みなど、日本では珍しい表現も見られます。南側には、公園も整備されています。

## 南井の頭田園住宅

関東大震災に心動かされた大地主の渡辺勇助が、災害に強い住宅地を目指して計画したものです。敷地面積が大きく、現在も緑豊かな住宅地が維持されています。シンボリックな庭木も見られます。

## 井の頭恩賜公園西園、三鷹の森ジブリ美術館 (百)

緑に恵まれた都立井の頭恩賜公園西園にある三鷹の森ジブリ美術館は、スタジオジブリと市の協働により実現した、文化施設です。建築には、多様な色彩が用いられていますが、エイジングした素材感により、周囲の緑と調和するとともに、独特の雰囲気をつくり出しています。周囲のサインなども統一したイメージでつくられています。

## 地域をつなぐコミュニティバス (百)

赤い小さなコミュニティバスが地域交通を支えています。

## むらさき児童公園 (百)

公園の中心にある大きな木が、遊具で遊ぶ子どもたちに木陰を提供しています。

## 熱気満ち、威勢よく祭り・神輿 (百)

八幡大神社などの例祭の景観です。



**自然**

北端を流れる玉川上水は、樹々の緑と都市的景観が調和した心地よい散歩道となっており、今後も周辺市街地の調和が求められます。仙川については、水源の森あけぼのふれあい公園において、親水空間が整備されています。

- 河川
- 緑被 樹林地
- 保存樹林・樹林
- 緑被 草地
- 緑と水の回遊ルート

**農**

上連雀地区に見られる短冊状の農地は、自然を補充する貴重な緑の景観です。農地に隣接する宅地においては、敷地境界の緑化等を推進するなど、農地との調和が求められます。また、農地においても境界の緑化など周辺の市街地の環境との調和が求められます。

- 農地

**歴史・文化**

文学者ゆかりの景観、用水跡及び三鷹の森ジブリ美術館など、歴史・文化を感じる景観が数多く残っています。これらの歴史・文化資源の周辺では、落ち着いた景観づくりが求められます。また、観光ルートの魅力向上も求められています。

文化財

- 市指定文化財
- 国登録文化財
- その他の文化資源
- 文化・教育施設
- 寺社
- 旧用水(品川用水跡)

**にぎわい**

市の表玄関である三鷹駅前、中央通りを中心に多くの路線型商店街が、にぎわいを形成しています。また、再開発基本計画において、再開発を促進すべき区域に位置づけられ、地域活性化の拠点となるような景観づくりが求められています。三鷹通り、吉祥寺通り及び調布保谷線の3つの都市軸が通っています。

商店街

- まちづくりの拠点
- 事業中の都市計画道路
- 都市軸
  - 中央都市軸
  - 東西都市軸
  - サブ都市軸

**コミュニティ**

市街化の進む三鷹駅周辺住区では、貴重な緑と憩いの空間となっている公園などを核として、緑豊かなまち並みづくりを行います。また、南井の頭田園住宅、曙住宅及び共栄会など、初期の住宅地開発の面影を感じる住宅地があり、市道第99号線の桜並木やシンボルとなる庭木など、人々に愛される風景の継承が求められています。

- 初期の住宅地開発
- 小・中学校・高等学校
- 公園・緑地・広場
- 緑道など特徴的な道
- 地区計画

**その他**

- 風景百選(百)
- コミュニティ住区の境界
- ※景観重点地区の範囲については、p88「図、景観計画区域の区分」を参照ください。

